



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月29日

東

上場会社名 株式会社さくらケーシーエス 上場取引所 東
 コード番号 4761 URL <https://www.kcs.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 貴紀
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 南野 耕三 (TEL) 078-391-6571
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	16,065	4.7	539	△7.2	710	6.1	494	△25.6
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期		15,342	△7.0	581	△37.4	669	△31.9	665
		958百万円(△52.1%)		2025年3月期第3四半期		630百万円(△29.3%)		
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期第3四半期	44.18		—					
2025年3月期第3四半期	59.41		—					

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年3月期第3四半期	百万円		百万円		%	
2025年3月期	25,022		20,410		81.6	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 20,410百万円 2025年3月期 19,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	12.00	—	20.00	32.00
2026年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	11,200,000株	2025年3月期	11,200,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	789株	2025年3月期	789株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	11,199,211株	2025年3月期3Q	11,199,211株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料 2 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社及び連結子会社の当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、全てのセグメントにおいてシステム構築が増加したほか、産業関連部門においてシステム機器販売が増加したことから、売上高は、前年同四半期比722百万円（4.7%）増の16,065百万円となりました。

損益面につきましては、增收効果に加え、収益性の高い案件の獲得や品質管理の強化による不採算案件の抑制を前期から継続して取り組んだ一方で、積極的な採用活動、教育研修の拡充及び給与のベースアップなどの人への投資や、生成AIを中心とした研究開発などの投資を推進した結果、営業利益は539百万円と前年同四半期比41百万円（7.2%）の減益となりました。経常利益は、資金運用による利息収入が増加したことから、710百万円と前年同四半期比41百万円（6.1%）の増益となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期にあった投資有価証券売却益の反動減により、494百万円と前年同四半期比170百万円（25.6%）の減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、2025年4月1日付の組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より金融関連部門の一部を産業関連部門に集計するよう変更しております、対前年同四半期の増減及び増減率については、前年同四半期の数値を変更後の区分方法に組み替えた数値に基づいて作成しております。

① 金融関連部門

SMB C グループ向け情報化投資案件に注力したことにより、システム構築が増加したことを主因として、売上高は4,637百万円と前年同四半期比121百万円（2.7%）の增收となりました。セグメント利益は営業力強化を目的とした人員のシフトや採用活動へ積極的に投資したことから、944百万円と前年同四半期比18百万円（1.9%）の減益となりました。

② 公共関連部門

自治体情報システムの標準化案件が順調に進捗し、システム構築が増加したことを主因として、売上高は4,349百万円と前年同四半期比203百万円（4.9%）の增收となり、セグメント利益は466百万円と前年同四半期比116百万円（33.1%）の増益となりました。

③ 産業関連部門

ERPソリューション案件によりシステム構築が増加したことに加え、システム機器販売も増加したことから、売上高は7,079百万円と前年同四半期比397百万円（6.0%）の增收となり、セグメント利益は1,427百万円と前年同四半期比143百万円（11.1%）の増益となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産が前連結会計年度末比533百万円減少して25,022百万円に、純資産は前連結会計年度末比544百万円増加して20,410百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比3.9%上昇して81.6%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日付の「2025年3月期決算短信」において発表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点での変更はありません。

なお、1株あたり配当金につきましても、現時点での変更はありませんが、中期経営計画の経営指標であります「配当性向30～40%を目安とした安定配当」を堅持し、年度の確定した業績に応じて期末配当金額を見直して参ります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,703	2,539
売掛金及び契約資産	7,473	5,429
電子記録債権	24	15
有価証券	2,221	3,716
商品	116	449
仕掛品	26	151
貯蔵品	3	2
その他	675	646
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	14,244	12,950
固定資産		
有形固定資産	2,346	2,338
無形固定資産	456	509
投資その他の資産		
投資有価証券	6,344	7,048
退職給付に係る資産	1,654	1,677
その他	544	531
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	8,508	9,223
固定資産合計	11,312	12,071
資産合計	25,556	25,022
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,245	1,150
未払法人税等	708	257
賞与引当金	1,365	407
受注損失引当金	3	4
その他	1,415	1,673
流動負債合計	4,739	3,493
固定負債		
役員退職慰労引当金	107	104
退職給付に係る負債	74	71
その他	768	941
固定負債合計	950	1,118
負債合計	5,690	4,612

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
　資本金	2,054	2,054
　資本剰余金	2,228	2,228
　利益剰余金	14,280	14,360
　自己株式	△0	△0
　株主資本合計	18,563	18,643
その他の包括利益累計額		
　その他有価証券評価差額金	976	1,453
　退職給付に係る調整累計額	326	312
　その他の包括利益累計額合計	1,302	1,766
純資産合計	19,866	20,410
負債純資産合計	25,556	25,022

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	15,342	16,065
売上原価	11,351	11,750
売上総利益	3,991	4,315
販売費及び一般管理費	3,410	3,776
営業利益	581	539
営業外収益		
受取利息	8	78
受取配当金	65	71
雑収入	28	42
営業外収益合計	102	191
営業外費用		
支払利息	11	20
雑損失	3	0
営業外費用合計	14	20
経常利益	669	710
特別利益		
投資有価証券売却益	277	-
特別利益合計	277	-
特別損失		
固定資産除却損	-	7
特別損失合計	-	7
税金等調整前四半期純利益	947	702
法人税等	281	207
四半期純利益	665	494
親会社株主に帰属する四半期純利益	665	494

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	665	494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	477
退職給付に係る調整額	△39	△13
その他の包括利益合計	△35	463
四半期包括利益	630	958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	630	958

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計		
財又はサービスの種類						
システム構築	3,859	2,236	3,498	9,594	—	9,594
システム運用管理	565	1,194	1,562	3,323	—	3,323
その他の情報サービス	77	455	529	1,062	—	1,062
システム機器販売	12	259	1,091	1,362	—	1,362
顧客との契約から生じる 収益	4,515	4,145	6,681	15,342	—	15,342
財又はサービスの移転の時期						
一時点で移転される財又は サービス	21	259	1,165	1,446	—	1,446
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	4,493	3,886	5,516	13,896	—	13,896
顧客との契約から生じる 収益	4,515	4,145	6,681	15,342	—	15,342
外部顧客への売上高	4,515	4,145	6,681	15,342	—	15,342
セグメント間の内部売上高 又は振替高	76	1	176	254	△254	—
計	4,592	4,147	6,858	15,597	△254	15,342
セグメント利益	962	350	1,284	2,596	△2,015	581

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,015百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融関連 部門	公共関連 部門	産業関連 部門	計		
財又はサービスの種類						
システム構築	4,071	2,465	3,724	10,261	—	10,261
システム運用管理	509	1,169	1,472	3,150	—	3,150
その他の情報サービス	50	390	631	1,072	—	1,072
システム機器販売	5	323	1,251	1,581	—	1,581
顧客との契約から生じる収益	4,637	4,349	7,079	16,065	—	16,065
財又はサービスの移転の時期						
一時点で移転される財又はサービス	5	337	1,309	1,652	—	1,652
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	4,631	4,011	5,770	14,413	—	14,413
顧客との契約から生じる収益	4,637	4,349	7,079	16,065	—	16,065
外部顧客への売上高	4,637	4,349	7,079	16,065	—	16,065
セグメント間の内部売上高又は振替高	122	17	173	313	△313	—
計	4,759	4,366	7,253	16,379	△313	16,065
セグメント利益	944	466	1,427	2,838	△2,298	539

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,298百万円は、管理部門の費用のうち配賦の困難な費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2025年4月1日付の組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より金融関連部門の一部を産業関連部門に集計するよう変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	471百万円	467百万円